

河川	環境基準	類型区分	区分点・区間	
			区分点	区間
神流川	A	神流川(1)	l	入沢谷川合流点 ~ 上流
		神流川(2)	m	笹川合流点 ~ l(下久保ダム貯水池を除く)
		神流川(3)	m	笹川合流点 ~ 鳥川合流点

図7. 1 神流川【水質汚濁に係る環境基準の類型指定状況】

表 7. 1 近年の水質の状況

近年の水質状況(神流川)

対象	水域	類型	環境基準点	年度	BOD(mg/L)					pH			DO(mg/L)				SS(mg/L)				大腸菌群数(MPN/100mL)			
					最小値	最大値	平均値	75%値	基準	最小値	最大値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準
河川	神流川(1)	A	森戸橋	H15	< 0.5	0.9	0.6	0.5	2	7.8	9.0	6.5~8.5	8.9	13.0	11.0	7.5	< 1	54	7	25	49	9,300	1,800	1,000
				H16	< 0.5	0.6	0.5	< 0.5		7.6	8.5		8.8	14.0	11.0		< 1	58	9		46	2,700	1,100	
				H17	< 0.5	2.5	0.7	< 0.5		7.9	8.3		8.6	15.0	11.0		< 1	1	1		0	3,300	1,000	
	神流川(2)	A	藤武橋	H15	< 0.5	1.3	0.8	0.9	2	7.8	9.7	6.5~8.5	7.7	14.0	11.0	7.5	< 1	12	3	25	23	13,000	3,100	1,000
				H16	< 0.5	1.3	0.7	0.8		7.5	9.2		7.7	13.0	11.0		< 1	15	5		33	17,000	2,700	
				H17	< 0.5	1.3	0.8	1.0		7.7	9.4		6.8	16.0	11.0		< 1	7	2		33	7,900	1,800	
	神流川(3)	A	神流川橋	H15	< 0.5	1.6	0.9	0.9	2	7.7	9.8	6.5~8.5	7.5	15.0	11.0	7.5	< 1	10	3	25	23	5,400	1,600	1,000
				H16	< 0.5	1.3	0.7	0.9		7.6	9.2		7.3	13.0	11.0		< 1	10	3		14	4,900	1,200	
				H17	< 0.5	1.3	0.8	0.9		7.7	9.6		7.2	15.0	11.0		< 1	4	2		23	24,000	2,900	

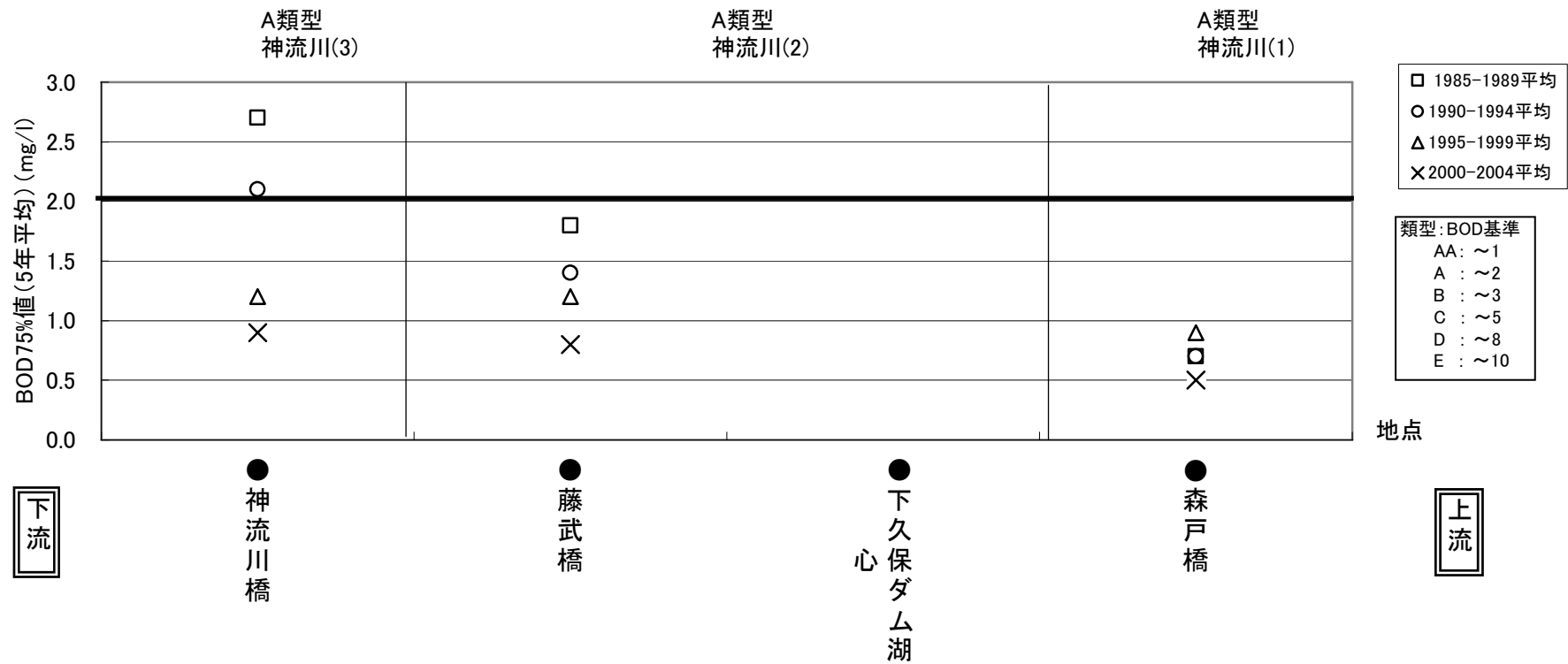
対象	水域	類型	環境基準点	年度	COD(mg/L)					pH			DO(mg/L)				SS(mg/L)				大腸菌群数(MPN/100mL)			
					最小値	最大値	平均値	75%値	基準	最小値	最大値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準
湖沼	下久保ダム (神流湖)	A・Ⅲ	湖心	H15	0.9	2.3	1.5	1.7	3	7.4	9.3	6.5~8.5	9.0	11.0	10	7.5	< 1	9	2	5	0	2,200	230	1,000
				H16	0.9	2.4	1.6	1.7		7.5	8.8		8.8	12.0	9.9		< 1	33	7		11	3,500	460	
				H17	0.9	4.3	1.9	2.1		7.8	9.4		9.2	13.0	11		< 1	5	2		0	130	31	
	水域名称	類型 COD・NP	環境基準点	年度	全窒素(mg/L)				全りん(mg/L)															
					最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準												
	下久保ダム (神流湖)	A・Ⅲ	湖心	H15	0.97	1.40	1.20		0.005	0.035	0.013													
				H16	1.00	1.80	1.30	—	0.005	0.065	0.023													
				H17	0.84	1.20	1.10		0.006	0.023	0.011													

出典: 公共用水域の水質測定結果

©公共用水域の水質測定結果(平成15~17年度)

湖沼NP類型・全窒素の項目の基準値は除く。

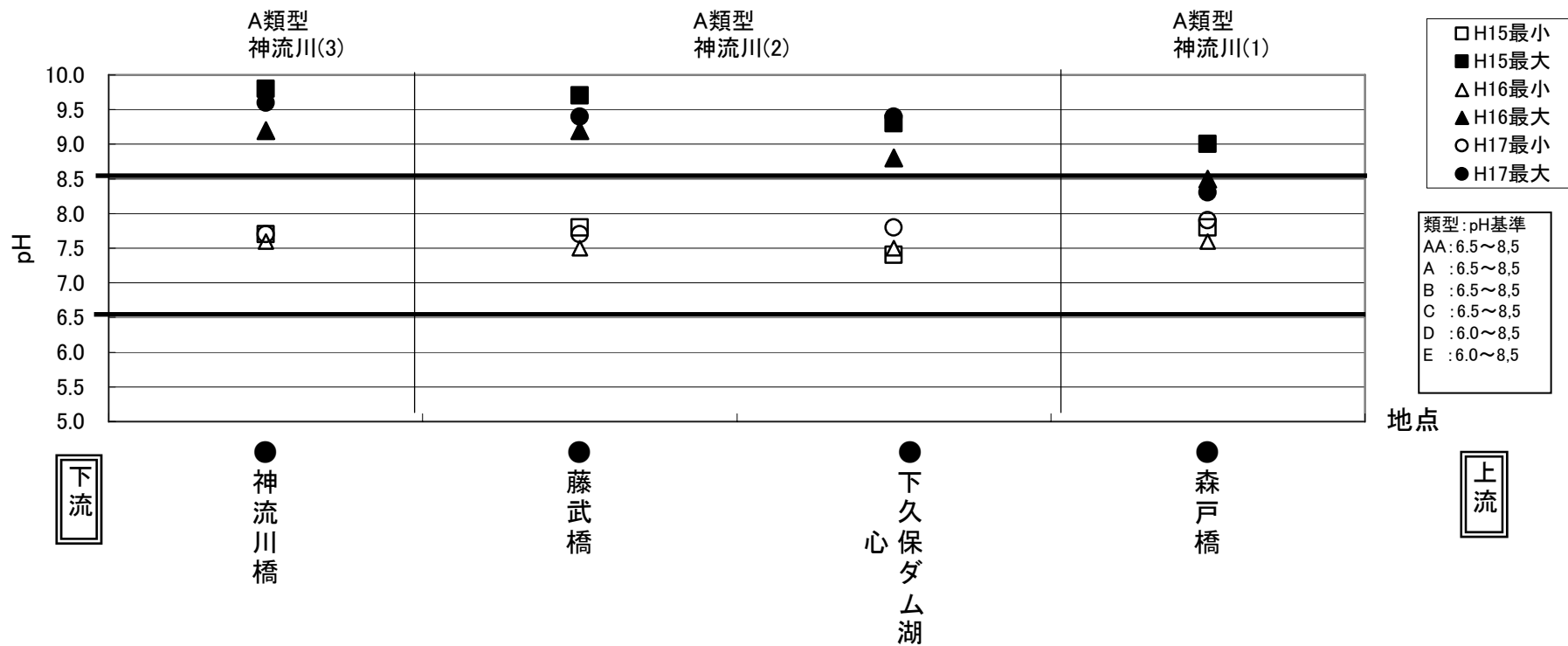
水質汚濁防止法の規定に基づき、全国の都道府県が毎年定める測定計画に従って、都道府県・水質汚濁防止法政令市のほか、一級河川のうち国の直轄管理区間については国土交通省地方整備局によって実施される。原則、河川は表層(水深の2割程度)、湖沼は表層(成層期には成層を配慮)、海域は表層・中層(必要に応じて下層)の測定結果である。



地点: 環境基準点(●)・補助点(○)・流量測定点(▲)

出典: 公共用水域の水質測定結果

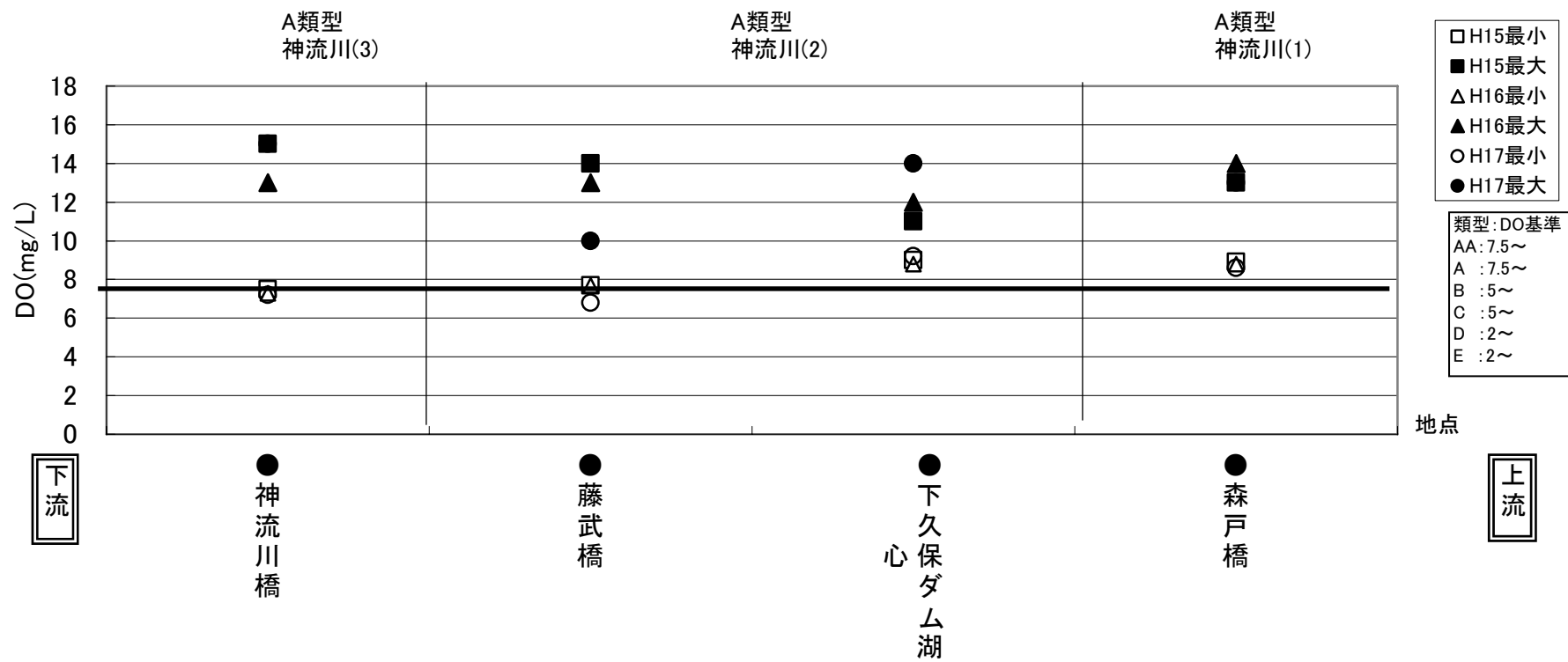
図7.2 BOD75%値の水質縦断分布



地点：環境基準点(●)・補助点(○)・流量測定点(▲)

出典：公共用水域の水質測定結果

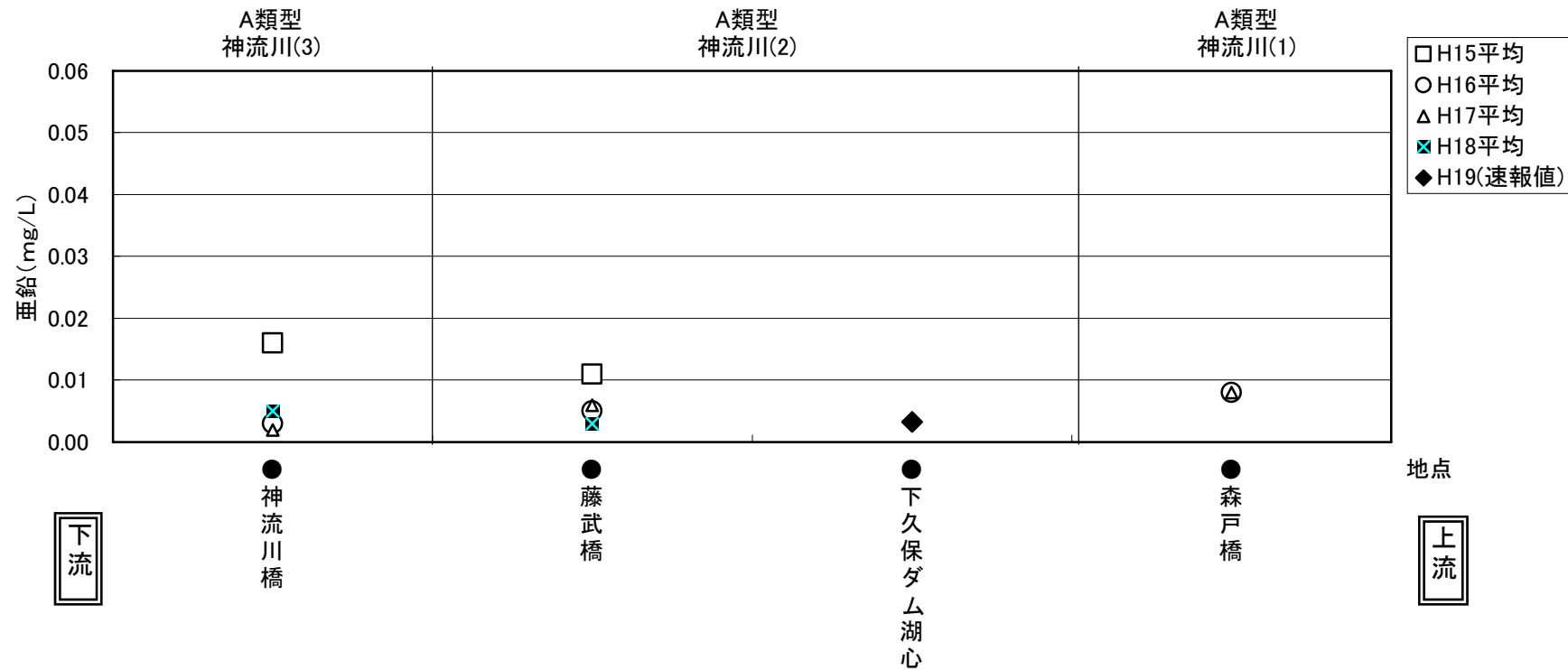
図 7. 3 pH の水質縦断分布



地点：環境基準点(●)・補助点(○)・流量測定点(▲)

出典：公共用水域の水質測定結果

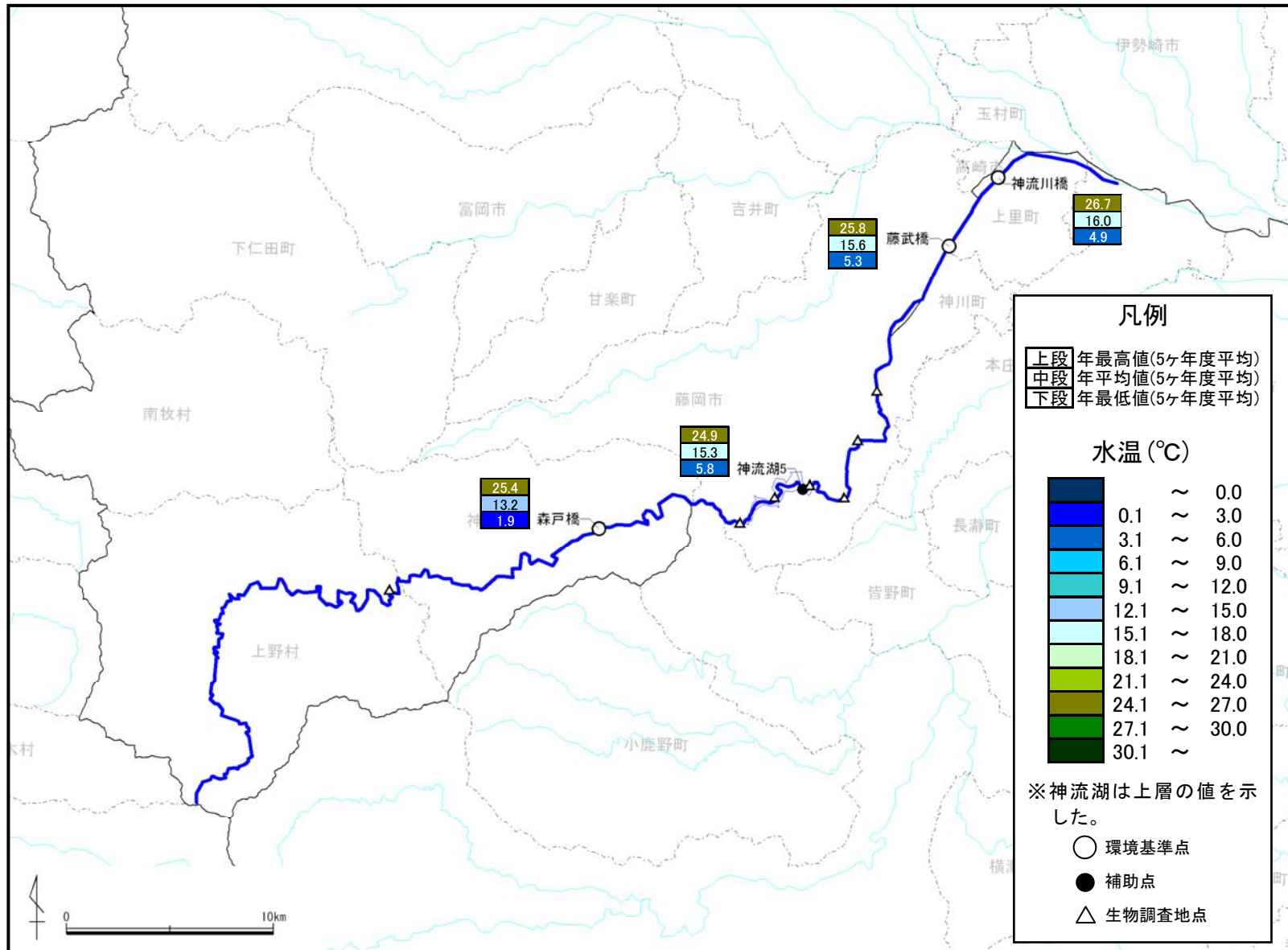
図 7. 4 DO の水質縦断分布



地点：環境基準点(●)・補助点(○)・流量測定点(▲)  
 ※年度平均値が<0.01、<0.03(定量下限値未満)の地点については、0.01及び0.03とみなしてプロットした。また、定量下限値が<0.05の地点のデータは除外した。  
 ※下久保ダム湖心の値は、H19(4~12月)の速報値である。

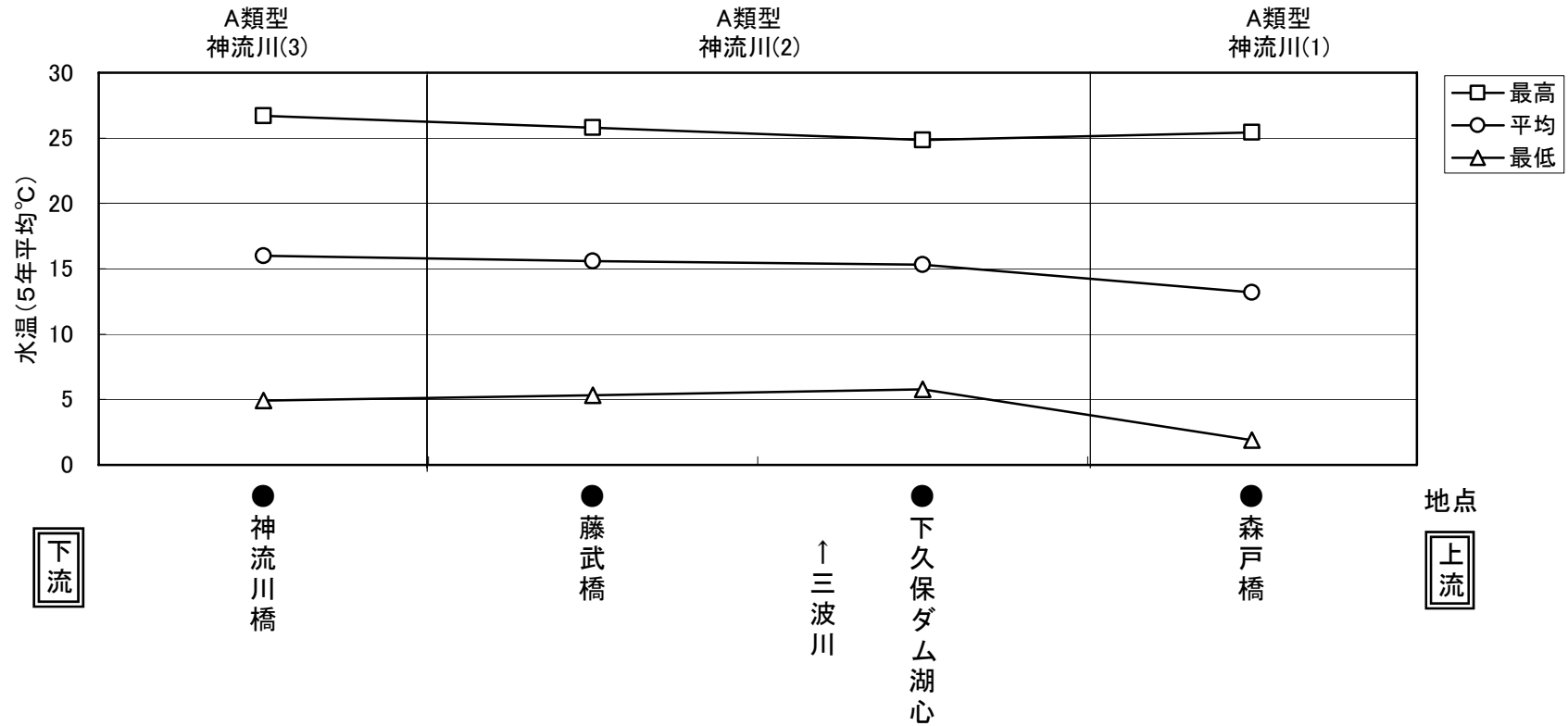
出典：公共用水域の水質測定結果

図7.5 亜鉛の水質縦断分布



出典：公共用水域の水質測定結果

図7.6 神流川【水温】



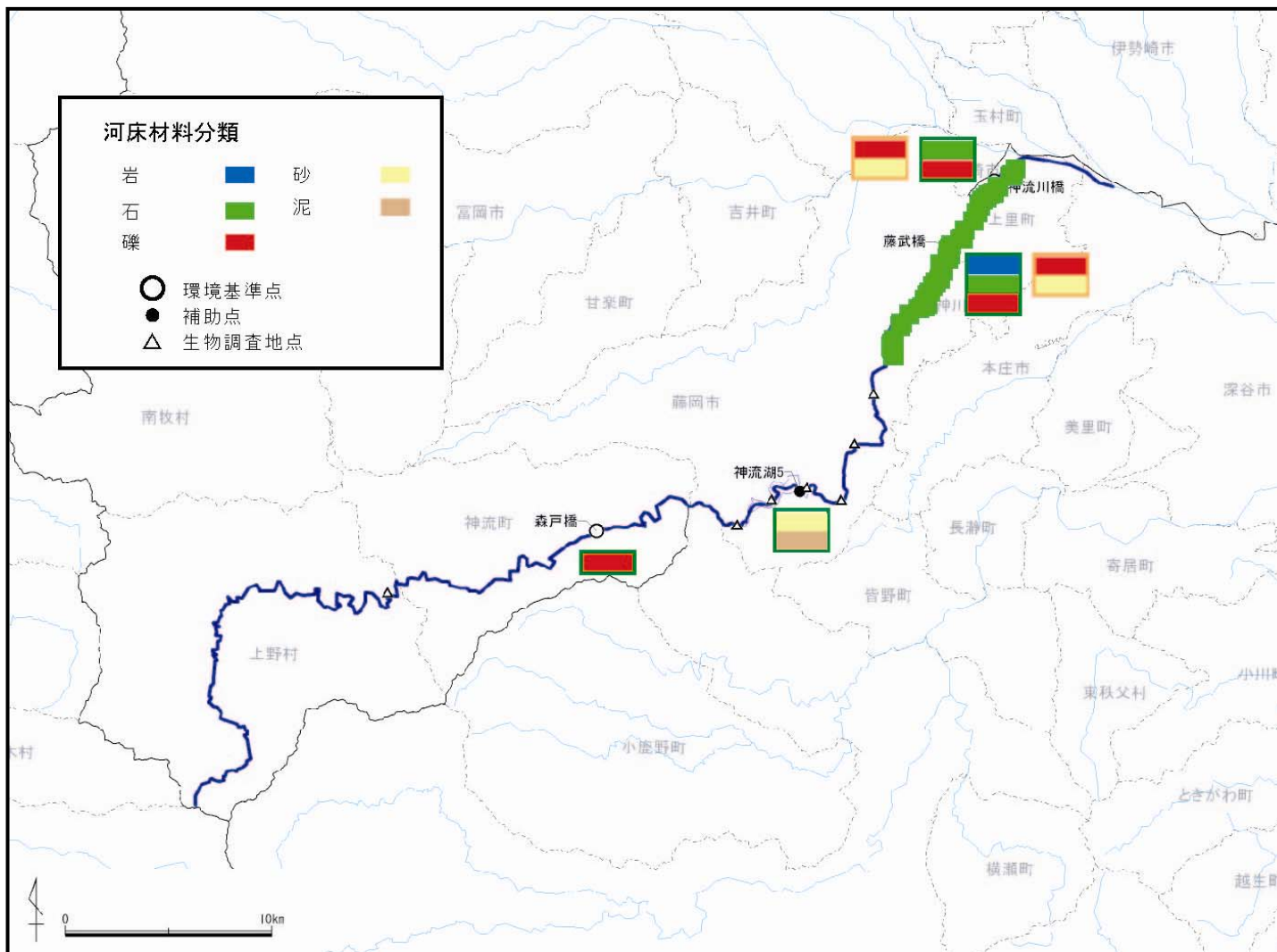
※最高・平均・最低は、平成12～16年度の公共用水域水質測定結果より、各年度において、月平均水温の年最高値・年平均値・年最低値を求め、5ヵ年でそれぞれ平均した値である。一部で月1回以上の頻度で計測していない地点がある。

地点：環境基準点(●)・補助点(○)・流量測定点(▲)  
 ※ダム湖の水温は表層データを示した。

出典：公共用水域の水質測定結果

図7. 7 水温の水質縦断分布

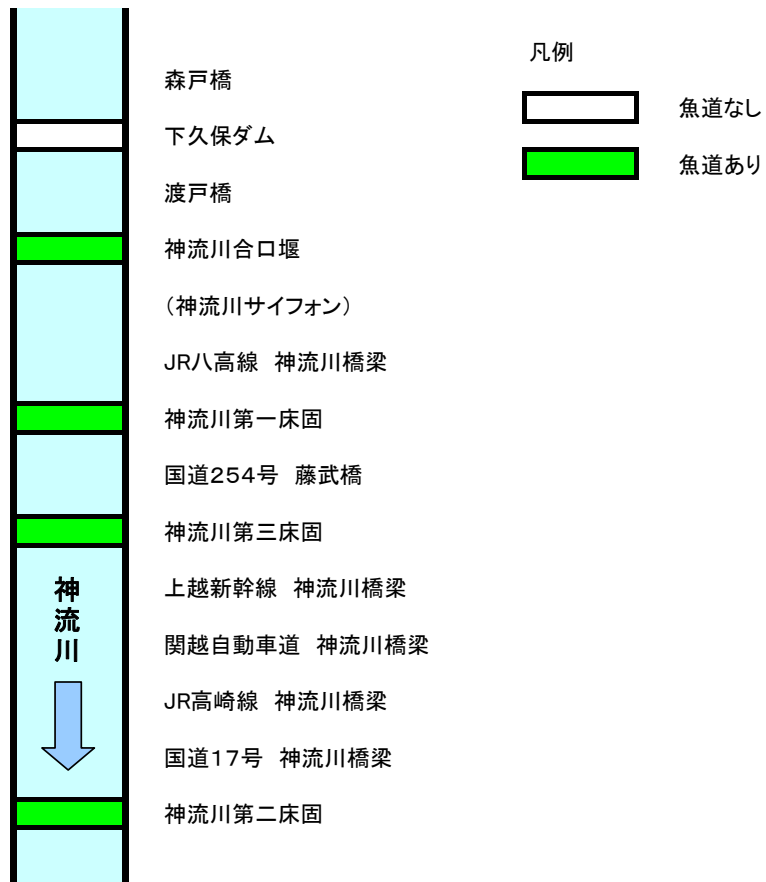




出典：関東地方建設局「平成11年度 利根川水系(神流川)河川調査報告書」

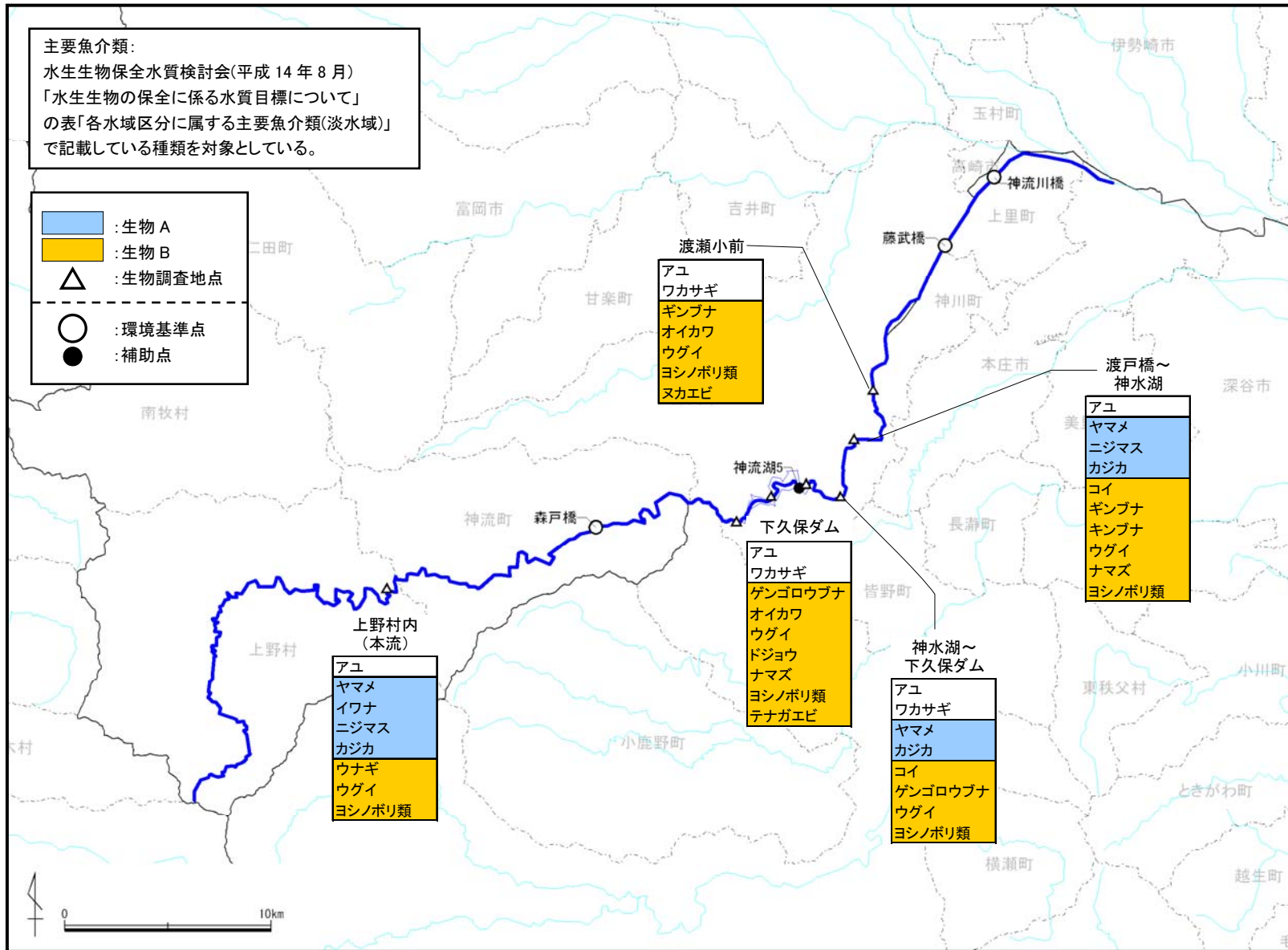
緑色は、平成14年度「漁協アンケート」、黄色は平成2・3年度「河川水辺の国勢調査」より

図7.8 神流川【河床材料】



出典：国土交通省資料等を基に環境省が作成

図 7. 9 主な河川横断工作物



出典：国土交通省「河川水辺の国勢調査」他

図 7. 10 神流川【主要魚介類の確認状況】

表7. 2 神流川魚介類の確認状況（既存調査結果）

項目・分類・科・種名		調査地点		1	2	3	4	5	6	7		
		渡瀬小前	渡戸橋湖 神水	神水湖 保ダム 下久	① 下久保ダム (ダム湖内)	② 下久保ダム (ダム湖内)	③ 下久保ダム (ダム湖内)	上野村内 (本				
調査時期		平成12年度(8・12月)	平成5～9年	平成5～9年	平成13年度(7月)	平成13年度(7月)	平成13年度(7月)	平成13年度(7月)	平成8～10年			
生物A	魚類	サケ科 ヤマメ		○	○					○		
		サケ科 イワナ								○		
		サケ科 ニジマス		○						○		
		カジカ科 カジカ		○	○					○		
その他	魚類	キュウリウオ科 アユ	○	○	○				○	○		
		キュウリウオ科 ワカサギ	○		○	○	○	○				
生物B	魚類	ウナギ科 ウナギ								○		
		コイ科 コイ		○	○							
		コイ科 フナ類(ゲンゴロウブナ)			○	○			○			
		コイ科 フナ類(ギンブナ)	○	○								
		コイ科 フナ類(キンブナ)		○								
		コイ科 オイカワ	○					○	○			
		コイ科 ウグイ	○	○	○					○		
		ドジョウ科 ドジョウ						○				
		ナマズ科 ナマズ		○					○			
		ハゼ科 ヨシノボリ類(トウヨシノボリ)	○	○	○				○	○		
		甲殻類	テナガエビ科 テナガエビ						○	○		
			ヌマエビ科 ヌカエビ	○								
		その他	魚類	コイ科 ワタカ					○	○		
				コイ科 ハス			○		○			
コイ科 カワムツB型										○		
コイ科 ホンモロコ						○	○	○				
コイ科 カマツカ				○						○		
コイ科 ツチフキ												
コイ科 ニゴイ	○			○	○	○	○	○	○			
コイ科 スゴモロコ								○	○			
ドジョウ科 シマドジョウ				○	○					○		
ナマズ科 ギバチ				○	○					○		
サンフィッシュ科 オオクチバス(ブラックバス)								○	○			
ハゼ科 ウキゴリ	○			○	○							
ハゼ科 ヌマチチブ	○			○	○			○	○			
甲殻類	アメリカザリガニ科 アメリカザリガニ			○								
貝類	サカマキガイ科 サカマキガイ	○										

※分類体系は山溪カラー図鑑日本の淡水魚(山と溪谷社,1989)・学研生物図鑑魚類(学習研究社,1983)・新日本動物図鑑(中)(北隆館,1965)等を参考とした。

データの出典: 調査機関・名称・年度

埼玉県、河川水辺の国勢調査、平成12年度(8・12月)調査

国土交通省、河川水辺の国勢調査、平成13年度(7月)調査(下久保ダム)

群馬県上野村、上野村誌 上野村の自然(動物)、平成8～10年調査データ

埼玉県神泉村、神泉村誌 自然編(平成11年3月)、本誌作成期間(平成5～9年)時の調査データ

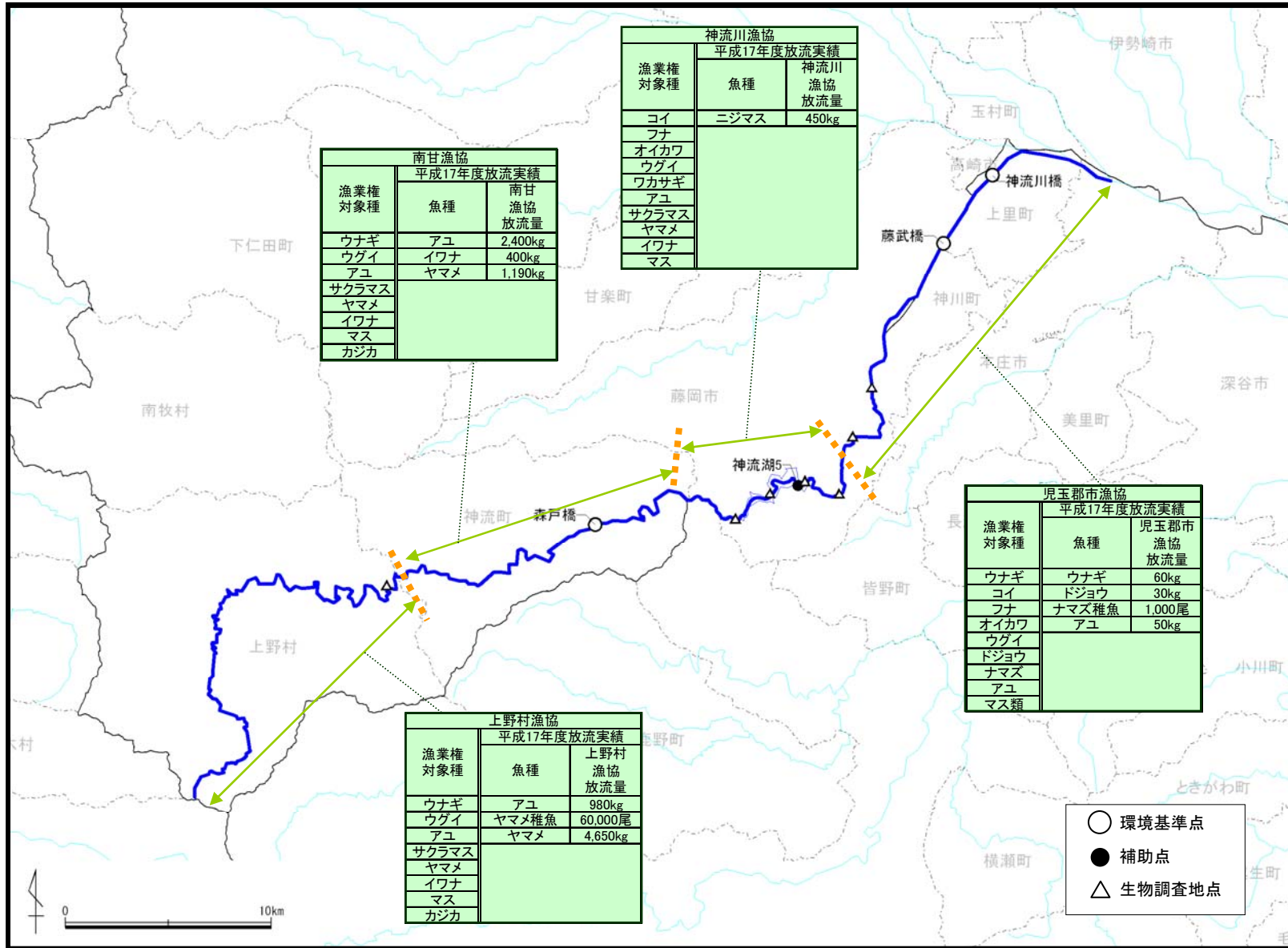


図7. 11 神流川【漁業権設定・魚類等放流状況】

表 7. 3 神流川の魚介類生息状況に関する学識者や漁業関係者へのヒアリング結果の整理

	上流	中流	下流
魚介類の生息に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表的及び特徴的な魚介類として、イワナ、ヤマメ、ウグイ等があげられる。</li> <li>イワナ・ヤマメ類は下久保ダムより上流に生息しており、ヤマメは神流湖の上流から上野村まで、イワナは上野村内で主に生息している</li> <li>コイ・フナ類（主にゲンゴロウブナ）は神流湖とその調整ダムの神水湖に生息している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表的及び特徴的な魚介類として、コイ、フナ類、アユ、ウグイ、コイ等があげられる。</li> <li>コイ・フナ類は下久保ダム下流から渡戸橋までの本流に生息している。</li> <li>アユは下久保ダム下流から渡戸橋までの本流に生息している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表的及び特徴的な魚介類としてウグイ、オイカワ等があげられる。</li> <li>イワナ・ヤマメ類は生息しているが、極僅かである。</li> <li>コイ・フナ類は下流の全域に生息している。</li> </ul>
産卵場・仔稚魚の成育場	<ul style="list-style-type: none"> <li>神流湖のバックウォーター付近のお蝶が穴（神流湖内の大きな岩）がアユの産卵場になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>下久保ダム下流でアユ等が産卵している。</li> <li>渡戸橋から旧神流町・旧鬼石町境の区間を定めず、オイカワまたはウグイの人工産卵床を毎年造成している。</li> </ul>	
放流に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>アユ、ヤマメ、イワナ、ウナギを放流している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アユ、ヤマメ、イワナ、ウナギ、ワカサギ、ヘラブナ、ゲンゴロウブナを放流している。</li> </ul>	
河川環境に関する情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>柏木堰堤に魚道はあるが、管理が不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>下久保ダム（神流湖）には魚道が無く、魚類の移動に影響を与えている。</li> </ul>	

※群馬県水産試験場、関東短期大学、南甘漁協、神流川漁協、児玉郡市漁協への平成 17,19 年度ヒアリング